

関係省庁の動き（環境省）

■ 6月9日に「水辺の環境活動フォーラム」を開催しました！
「水辺の環境活動プラットフォーム」会員も募集中！

- 環境省では、水辺・海辺の「保全」に加え、地域づくりや地場産業、観光などの観点から「活用」していくことも重視した新たな政策を進めることとしており、そのキックオフイベント「水辺の環境活動フォーラム」を6月9日に開催し、約500名（オンライン併用）の参加がありました。
- フォーラムでは、水辺や海辺を活かした地域の魅力向上に取り組む30を超える団体が一堂に会し、活動紹介やディスカッションにより、水辺を活用した地域の魅力向上に向けて議論を深めました。



- ▽ 「水辺の環境活動フォーラム」の詳細はこちらから（各団体の登壇資料等をご覧ください）
https://policies.env.go.jp/water/waterside-environment/news/forum_250609/

★プラットフォームでできること・・・

- また、「水辺の環境活動プラットフォーム」の会員登録方法等をまとめたリーフレットを新たに作成しました。
- 会員登録いただくと、良好な水環境の保全・活用に関する団体の取組・イベント等の投稿が可能です。ぜひ、会員登録・情報発信をお願いします！

1 情報収集
情報交流

地域の関係者の
つながり促進

PF会員の構成と会員メニュー	
会員	行政、企業、団体、個人
会員メニュー	会員の基本情報の登録及び掲載 良好な水環境等の保全・活用に関する取組の登録及び掲載 会員主催イベント情報の登録及び掲載 交流掲示板の登録及び掲載 メールマガジンによるプラットフォーム活動等の情報発信等

※個人会員はメールマガジンのみ

- ▽ 「水辺の環境活動プラットフォーム」会員登録はこちらから



<https://policies.env.go.jp/water/waterside-environment/>

会員情報ページはこちら：<https://mizubekankyo-member.spiral-site.com/members/>

2 地域で実施されている水環境の保全・活用の取組を閲覧できます

ウェブサイトコンテンツ

良好な環境を活かした地域づくり
水環境の保全と活用に関する活動を案内
●名水づくり ●里海づくり ●観光地域づくり

身近な水辺の調査
多面的に水環境をモニタリングする活動を案内
●全国水生生物調査 ●水辺のすこやか調査(みずしるべ)
●身近な水辺の調査の事例 ●水辺の調査お役立ち情報

国土交通省より

■ 第6回グリーンインフラ大賞 募集受付中！

グリーンインフラ官民連携プラットフォーム（事務局：国土交通省）において、「第6回グリーンインフラ大賞」の募集を開始いたしました。

応募期間：令和7年7月22日（火）～9月24日（水）17：00必着

応募要領・応募様式：以下の国土交通省プレスリリースからダウンロードください。

【国土交通省プレスリリース】

URL：https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000354.html

<グリーンインフラ大賞応募説明会（申し込み不要）>

【開催日】8月20日（水）16：00～

【参加URL（ZOOM）】

<https://us06web.zoom.us/j/81339675658?pwd=RBgNg6yfLt4CD4oaQA8TExb0Vvyuswp.1>

ミーティング ID: 813 3967 5658 パスコード: 616736

【概要】

・開催方式：Zoom上で行います。（先着500名）

・内容：グリーンインフラ大賞の概要や、募集要綱・応募できる事例の説明、質疑応答 等

※応募するメリットや受賞のコツなどをお伝えする場となっておりますので、ぜひご参加ください。

詳細はこちらから ▶▶▶ [「第6回グリーンインフラ大賞の募集を開始～グリーンインフラに関する優れた取組・計画事例を表彰します～」](https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000354.html)
(https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000354.html)

関係省庁の動き（環境省）

「令和7年度ネイチャーポジティブ地域づくり支援モデル事業（通称：ランドスケープアプローチの実践事業）」の参加募集について

- 環境省では、企業がネイチャーポジティブ目標に貢献する取組を実施することが企業価値の向上にもつながり、かつ地域課題の解決等を通じて地域価値の向上にも寄与する「ネイチャーポジティブな地域づくり」のモデル創出を開始します。
- 令和7年7月18日（金）から同年8月15日（金）17時まで、「令和7年度ネイチャーポジティブ地域づくり支援モデル事業（通称：ランドスケープアプローチの実践事業）」の対象となる支援連携体制を募集します。

■ 本事業の目的

本モデル事業では、企業がネイチャーポジティブ目標に貢献する取組を実施することが企業価値の向上にもつながり、かつ地域課題の解決等を通じて地域価値の向上にも寄与する「ネイチャーポジティブな地域づくり」のモデル創出を目的として、既存の計画やデータ等も踏まえて、地域の関係主体と連携し、ランドスケープアプローチの実践の具体化を支援します。

■ モデル事業について

● 想定しているモデルについて

自然資本の供給側（上流）から消費側（下流）までが一体となって、そのランドスケープの中にいるステークホルダーが連携して取り組むランドスケープアプローチの実践を支援する観点から、一定の地域単位におけるマルチセクターによる連携を重視します。そのため、企業、地方公共団体、学術研究機関、地域金融機関、中間支援組織、NPO等の3者以上が連携し、各者の役割分担やそれぞれの利害関係を整理することが前提となります。その上で、自然資本の保全と活用を地域が一体となって実施し、モデルを構築することを想定しています。

Nature-based Solutions等を通じて自然再興とともに炭素中立にも資するモデル創出も期待されています

● 募集対象

企業、地方公共団体、学術研究機関、地域金融機関、中間支援組織、NPO等の3者以上が連携し、代表者が申請するようにしてください。申請代表者は、企業、地方公共団体、その他関係機関のいずれでも構いません。

● 募集期間：令和7年7月18日（金）～ 同年8月15日（金）17 時必着

● 応募方法：下記環境省プレスリリースより申請書をダウンロードいただき、プレスリリース記載の申請書提出先まで送付ください。

<URL> https://www.env.go.jp/press/press_00250.html

■ 会員情報 2082人・団体（2025年6月20日時点）

● 新たな一号会員

- ・東京都 品川区 防災まちづくり部河川下水道課
- ・東京都 環境局自然環境部計画課
- ・静岡県 静岡市役所

● 新たな三号会員（民間企業、学術団体等）

- ・株式会社エイト日本技術開発
- ・NPO法人グリーンフィールド
- ・南榮工業株式会社
- ・大東建託株式会社
- ・熊本グリーンインフラ研究会
- ・菅原造園建設株式会社
- ・BTコンサルティング株式会社
- ・株式会社エース・クリーン
- ・株式会社EMS
- ・MS&ADインターリスク総研
- ・株式会社一三工業所
- ・ビルマテル株式会社
- ・アース製薬株式会社
- ・株式会社アリモト工業
- ・一般社団法人AWG環境
- ・株式会社アグリ王

● 新たな二号会員

- ・国土交通省 九州地方整備局

人物紹介 ※グリーンインフラに携わる方々を紹介します



よこやま さえ
横山 紗英（出身：東京都）

国土交通省
総合政策局 環境政策課
係長

学生時代に、開発による都市緑地の減少を目の当たりにした時、“それが持続可能なのか”疑問を持つと同時に、「グリーンインフラ」という言葉を知りました。“グリーン”こそ“インフラ”（社会基盤）そのものであると考えており、現職では、その意義の分かりやすい説明や、各主体の取組を後押しする環境づくりに日々奮闘しています。昨年度より引き続き、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

随時会員募集！
登録無料！
団体でも個人でも登録可！

今すぐ、
左記サイトから登録を！！

プラットフォーム専用サイトへ
<https://gi-platform.com/>

REGISTER
会員登録
はこちらから